



**第一部 2009年度業績概要と
2010年度業績見通しについて**

**第二部 統合初年度の振り返りと
2010年度経営方針について**

2010.5.26

明治ホールディングス株式会社



**2009年度業績概要と
2010年度業績見通しについて**

2010.5.26

明治ホールディングス株式会社

取締役執行役員

永田 毅

1. 09年度 連結業績(計画)
 2. 09年度 連結決算概要
 3. 09年度 【事業子会社】 連結決算概要
 4. 10年度 連結業績見通し
 5. 10年度 【事業子会社】 連結業績見通し
- おわりに

1. 09年度 連結業績(計画)

①中期経営計画の環境認識

■市場環境の変化

- ・消費者ニーズの多様化・複雑化と、生活防衛意識の高まり
- ・国内の少子・高齢化の進展と人口減少
- ・食の安全への意識の高まり

■業界の動き

- ・変化の波にさらされる酪農・乳業界
- ・医療制度改革
- ・事業提携やM&Aの活発化

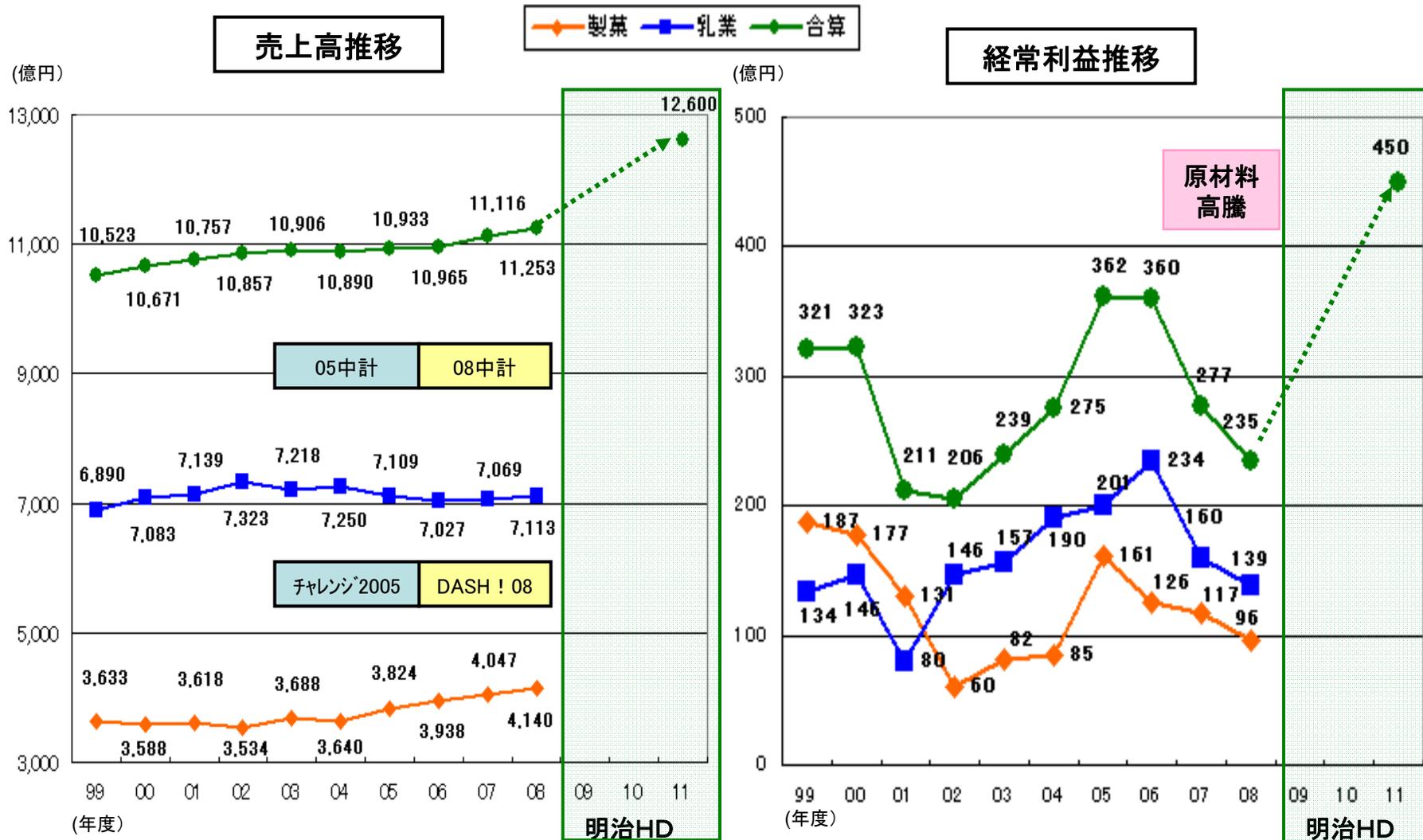


経営統合による競争力強化及び新たな顧客価値提供

(1) 09年度計画の再確認 (09. 5.27)



② 中期経営計画の背景と経営目標



(2) 09年度計画について



(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
修正計画	11,240	260	260	120
当初計画	11,430	250	250	115
差額	△190	+10	+10	+5

* 当初計画：09年5月14日発表

* 修正計画：09年11月12日発表

(3)09年度セグメント別計画について



(単位：億円)

		全体	乳製品	菓子・健康	医薬品	サービス他	HD消去
売上高	修正計画	11,240	5,981	3,120	1,267	1,400	△528
	当初計画	11,430	5,993	3,120	1,267	1,487	△437
	差額	△190	△12	+0	+0	△87	△91
営業利益	修正計画	260	114	50	83	28	△15
	当初計画	250	111	50	82	21	△15
	差額	+10	+3	+0	+0	+7	—

* 当初計画：09年5月14日発表

* 修正計画：09年11月12日発表

2. 09年度 連結決算概要

(1) 連結貸借対照表(10.3.31現在)



(単位：億円)

	連結			連結	
	実績	期首比		実績	期首比
流動資産	3,095	+145	流動負債	3,007	△14
現金及び預金	166	+22	買掛債務	951	△7
受取手形及び売掛金	1,545	+1	金融債務	1,058	△93
たな卸資産	1,112	+121	その他	997	+86
その他	270	+0	固定負債	1,315	+35
固定資産	4,204	+25	金融債務	969	+10
有形固定資産	3,328	△17	その他	345	+25
無形固定資産	104	△8	負債計	4,322	+21
投資その他の資産	771	+51	株主資本	2,893	+109
			その他	84	+40
			純資産計	2,977	+149
資産合計	7,300	+170	負債・純資産合計	7,300	+170
			有利子負債残高	2,032	△82

* 有利子負債残高は割引手形含む。

■ (2) 連結キャッシュ・フロー計算書

meiji

(単位：億円)

キャッシュ・フロー	実績
営業活動によるCF(Ⅰ)	+477
投資活動によるCF(Ⅱ)	△336
財務活動によるCF(Ⅲ)	△126
現金及び現金同等物の期末残高	160

* フリー・キャッシュ・フロー (Ⅰ + Ⅱ) ≒ 140

■ (3) 連結業績



(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
実績	11,066	287	283	130
修正計画	11,240	260	260	120
増減	△173	+27	+23	+10
達成率(%)	98.5	110.7	108.9	109.1

(注) 明治HD(連結)の数値については、明治製菓・明治乳業両社の連結消去後の数字で表示しています。

(4) セグメント別業績



(単位: 億円)

	売上高	達成率 (%)	営業利益	達成率 (%)
乳製品	6,000	100.3	134	121.2
菓子・健康	2,930	93.9	44	88.1
医薬品	1,276	100.7	84	101.5
サービス他	1,408	100.6	34	120.6
合計	11,616	98.7	297	109.0
消去又は全社	△550	—	△9	—
連結	11,066	98.5	287	110.7

(5) 各セグメントの定義

【乳製品セグメント】

従来の明治乳業の「食品」セグメントに相当。

市乳(牛乳類・ヨーグルト等)、粉乳(コナミルク等)、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品(流動食・ヴァーム等)、畜産品等の製造・販売。

【菓子・健康セグメント】

従来の明治製菓の「フード&ヘルスケア」セグメントに相当。

菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品(アミノコラーゲン等)、一般医薬品(イソジン等)等の製造・販売、スポーツクラブの経営等。

【医薬品セグメント】

従来の明治製菓の「薬品」セグメントに、明治乳業の「その他」セグメント中の医薬品事業を加えたもの。医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売。

【サービス他セグメント】

従来の明治乳業の「サービス・その他」セグメントの医薬品以外に明治製菓の「ビル賃貸他」のセグメントを加えたもの。不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業。

(6) 配当について

(基準日)	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間期末	期末	年間	
平成22年3月期	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00	% 45.0

(注) 統合初年度の平成22年3月期につきましては、当期末時点の株主に対して、年間配当として1株当たり80円の 期末配当を実施することを平成22年5月13日の取締役会で決議しました。配当支払開始日は平成22年6月9日です。

なお、平成23年3月期以降につきましては、中間期末を基準日とする配当（いわゆる中間配当）も実施する予定です。

(実質増配)

(旧) 明治製菓株式会社 7円／株 → 8円／株

(旧) 明治乳業株式会社 1株 → 1.17株

※旧来ベースでの試算

■ (7)設備投資額 他

(単位：億円)

	09年度実績		備考
	(明治製菓)	(明治乳業)	
設備投資額	305	180	支払いベース (09年度 認可ベース 638億)
減価償却費	376	181	有形固定資産 リース含
研究開発費	227	157	
従業員数 (名)	14,168	6,937	従業員数の実績には、 明治HD従業員35名含む。

(注)設備投資額、減価償却費、研究開発費は明治製菓・明治乳業それぞれの連結の合計となっています。

(8) 事業子会社の概要(修正計画対比)



【明治製菓】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
実績	4,110	108	110	47
修正計画	4,300	110	110	45
増減	△189	△1	+0	+2
達成率(%)	95.6	98.5	100.5	106.4

【明治乳業】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
実績	7,044	175	172	83
修正計画	7,020	150	150	75
増減	+24	+25	+22	+8
達成率(%)	100.4	117.2	115.2	111.8

(注) 明治製菓(連結)・明治乳業(連結)の数値は、両社間の連結消去前の数字で表示しています。

3. 09年度【事業子会社】連結決算概要

◆明治製菓

◆明治乳業

■ (1)【明治製菓】業績概況(連結)



(単位：億円)

	実績	前期増減	前期比(%)
売上高	4,110	△30	99.3
営業利益	108	+0	100.3
経常利益	110	+14	115.1
当期純利益	47	+22	187.4

■ (2)【明治製菓】部門別売上高(連結)

meiji

(単位：億円)

	金額	前期増減	前期比(%)
F&H	2,926	△51	98.2
菓子	1,408	△52	96.3
健康	502	+29	106.3
フードクリエイティブ(業務用食材)	781	+8	101.1
海外(輸出・輸入)	233	△37	86.1
薬品	1,153	+23	102.0
医療用医薬品	940	+39	104.3
生物産業(農薬・動物薬)	212	△15	93.2
その他	30	△2	92.4
合計	4,110	△30	99.3

■ (3)【明治製菓】セグメント情報(連結)



(単位：億円)

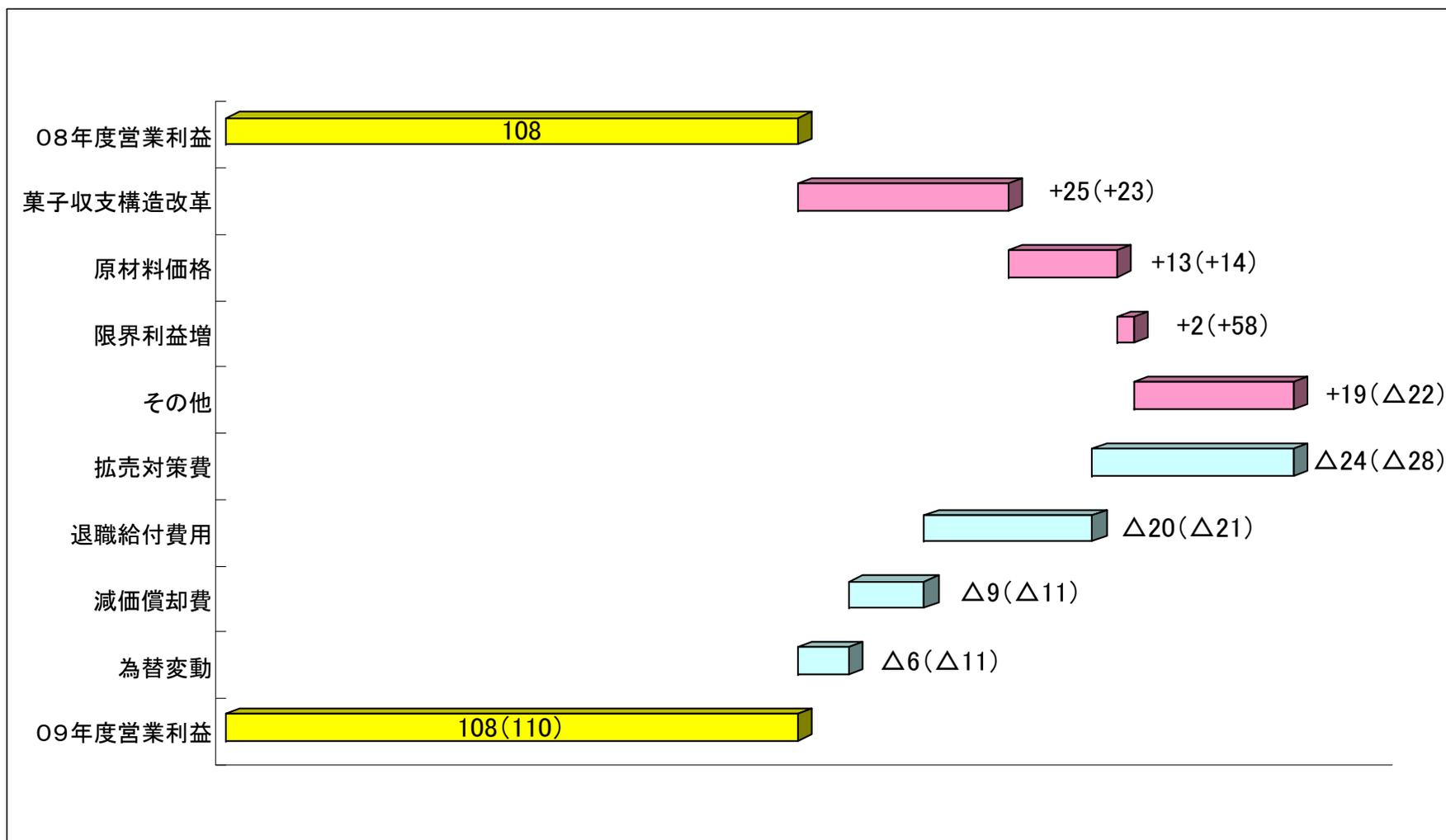
	フード&ヘルスケア(F&H)			薬品		
	実績	前期	増減	実績	前期	増減
売上高	2,926	2,977	△51	1,153	1,129	+23
営業利益	44	30	+13	72	72	△0
	ビル賃貸他			合計		
	実績	前期	増減	実績	前期	増減
売上高	30	33	△2	4,110	4,140	△30
営業利益	6	7	△1	122	110	+12

(注)売上高は「明治製菓グループ内」における連結消去後の金額を記載。営業利益は「明治製菓グループ内」における連結消去前の金額を記載。

(4)【明治製菓】営業利益増減益要因



(単位：億円)



※営業利益については、消去後の数字で表示しております。

※ () 内は期首計画

■ (5)【明治乳業】業績概況(連結)



(単位：億円)

	実績	前期増減	前期比(%)
売上高	7,044	△68	99.0
営業利益	175	+35	125.2
経常利益	172	+33	124.1
当期純利益	83	+24	141.3

(6)【明治乳業】部門別売上高(連結)



(単位：億円)

	金額	前期増減	前期比 (%)	物量前期比 (%)
明治乳業単体計①	4,923	+109	102.3	—
市乳	2,889	+64	102.3	98.9
牛乳類(注1)	1,141	△4	99.6	96.4
ヨーグルト	1,108	+87	108.5	104.7
その他	639	△18	97.2	97.9
乳製品	831	+56	107.4	103.0
粉乳	385	+46	113.6	101.4
れん乳	9	△0	95.6	95.3
バター	155	△1	98.8	98.0
チーズ	281	+13	104.9	109.6
アイスクリーム	403	△12	97.1	97.3
飲料	229	△9	95.9	96.9
その他(注2)	569	+9	101.7	—
連結子会社売上②	3,543	△195	94.8	—
連結消去③	△1,422	+17	98.8	—
合計(①+②+③)	7,044	△68	99.0	—

(注1) 牛乳類とは、牛乳・加工乳・白物乳飲料の計。(注2) その他は、栄養食品、冷凍食品、マーガリンなど。

Ⅰ (7)【明治乳業】セグメント情報(連結)



(単位：億円)

	食品			サービス・その他			合計		
	実績	前期	増減	実績	前期	増減	実績	前期	増減
売上高	6,000	5,974	+26	1,466	1,564	△97	7,467	7,539	△71
営業利益	134	109	+24	40	28	+11	174	138	+35

(注)「明治乳業グループ内」における連結消去前の金額を記載

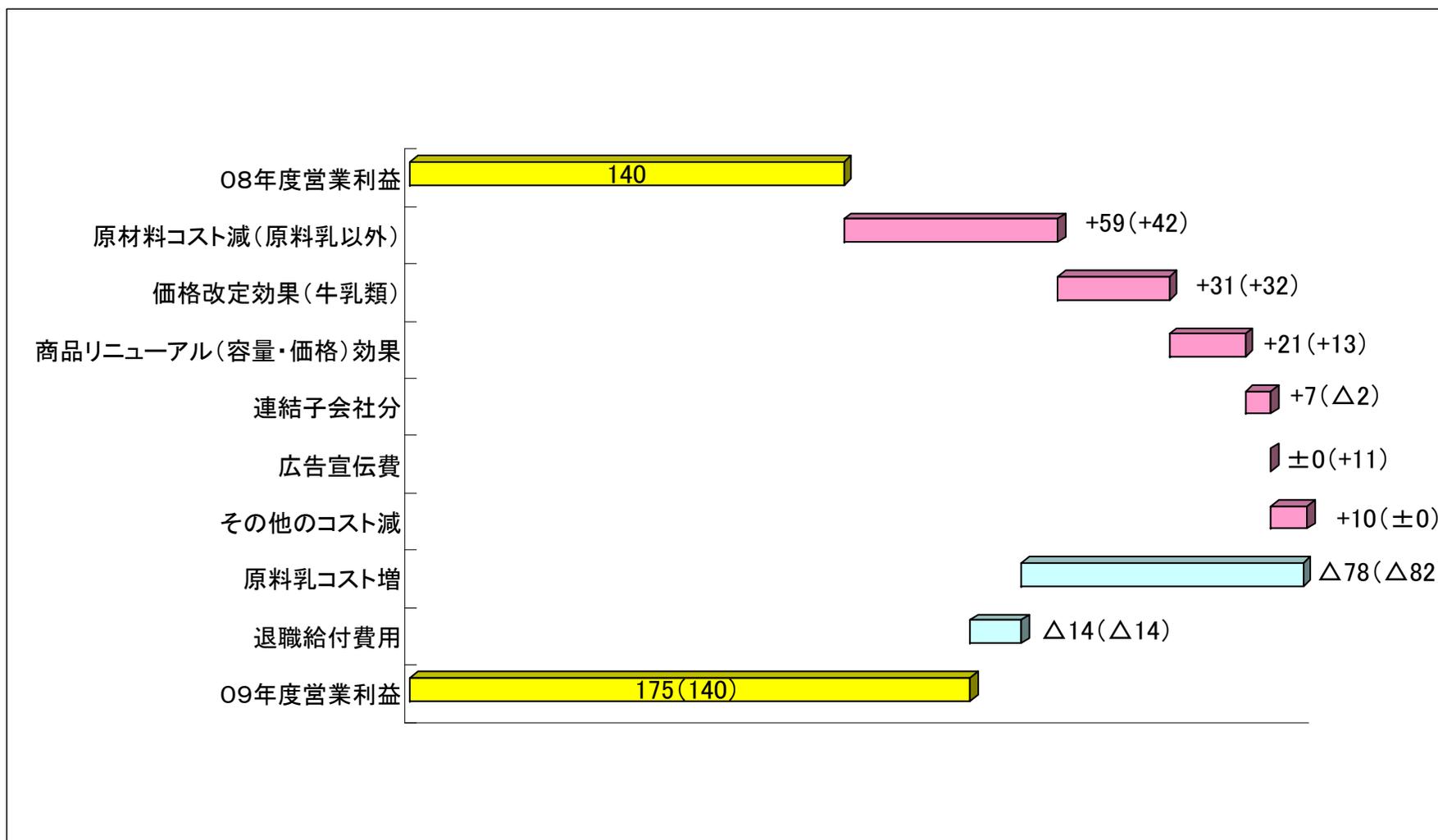
食品事業：牛乳、乳製品、アイスクリーム他食品の製造・販売

サービス・その他事業：物流事業、飼料事業、その他事業

(8)【明治乳業】営業利益増減益要因



(単位：億円)



※営業利益については、消去後の数字で表示しております。

※ () 内は期首計画

4. 10年度 連結業績見通し

(1) 連結業績見通し



(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
10年度計画	11,310	290	290	150
09年度実績	11,066	287	283	130
増減	+243	+2	+6	+19
前期比(%)	102.2	100.7	102.4	114.6

(2)セグメント別業績見通し



(単位：億円)

	売上高			営業利益	
	当期	増減	前期比(%)	当期	増減
乳製品	6,085	+84	101.4	147	+12
菓子・健康	3,020	+89	103.0	55	+10
医薬品	1,312	+35	102.8	71	△13
サービス他	1,449	+40	102.9	26	△8
計	11,866	+249	102.1	299	+1
消去又は全社	△556	—	—	△9	—
連結	11,310	+243	102.2	290	+2

■ (3)設備投資額 他



(単位：億円)

	10年度計画		備考
	(明治製菓)	(明治乳業)	
設備投資額	371	250	認可ベース リース含
減価償却費	395	203	有形固定資産 リース含
研究開発費	233	73	

(注)設備投資額、減価償却費、研究開発費は明治製菓・明治乳業それぞれの連結の合計となっています。

5. 10年度【事業子会社】連結業績見通し

◆明治製菓

◆明治乳業

(1) 事業子会社別業績見通し



【明治製菓】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
10年度計画	4,300	115	115	60
09年度実績	4,110	108	110	47
前期比 (%)	104.6	106.1	104.0	125.3

【明治乳業】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
10年度計画	7,110	175	175	90
09年度実績	7,044	175	172	83
前期比 (%)	100.9	100.0	101.3	107.4

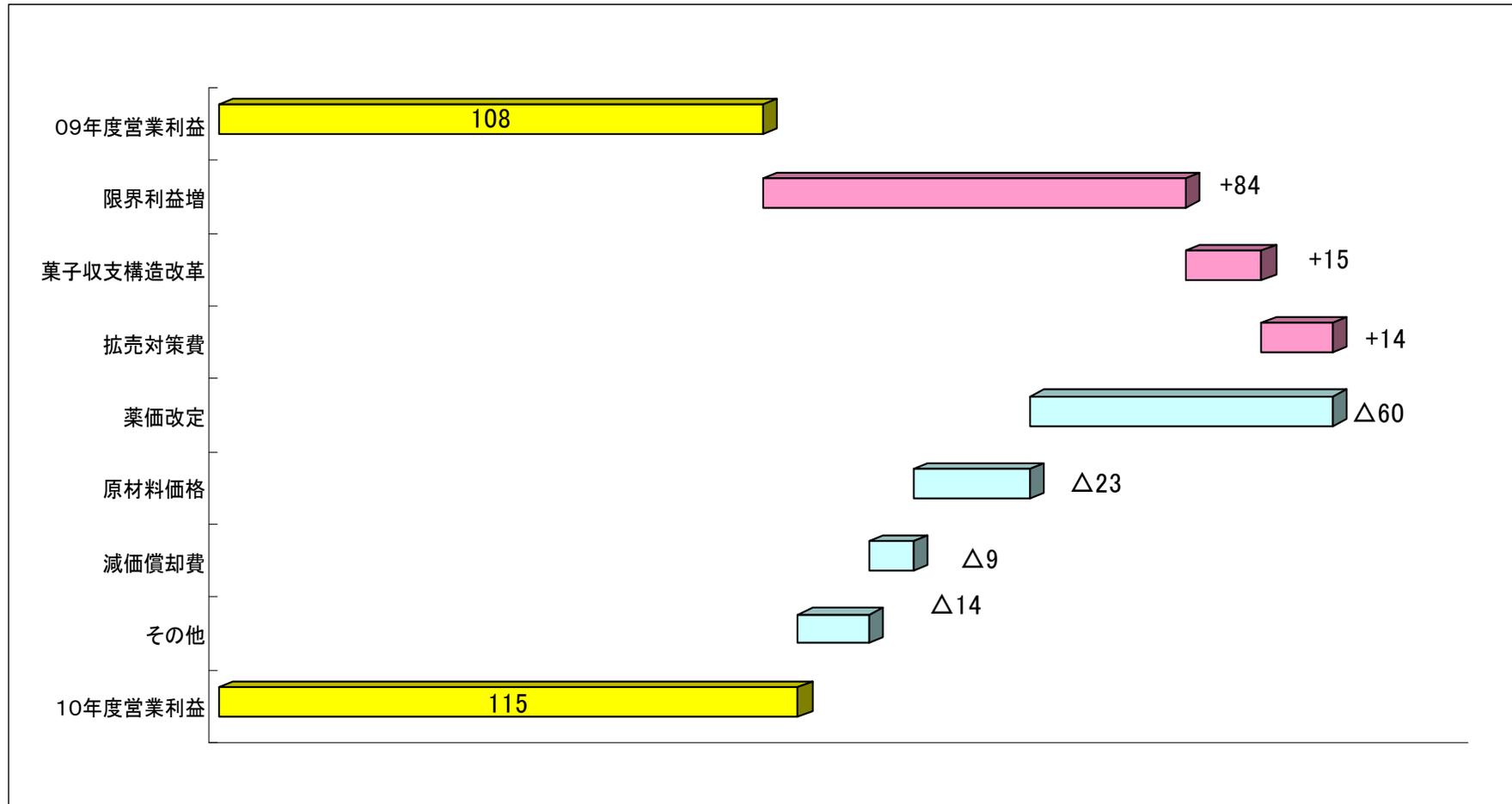
(注) 明治製菓(連結)・明治乳業(連結)の数値は、両社間の連結消去前の数字で表示しております。

(注) なお、本年4月1日、グループ内再編により大蔵製薬が明治製菓傘下の連結子会社となりました。

(2)【明治製菓】営業利益増減益要因（通期計画）



（単位：億円）

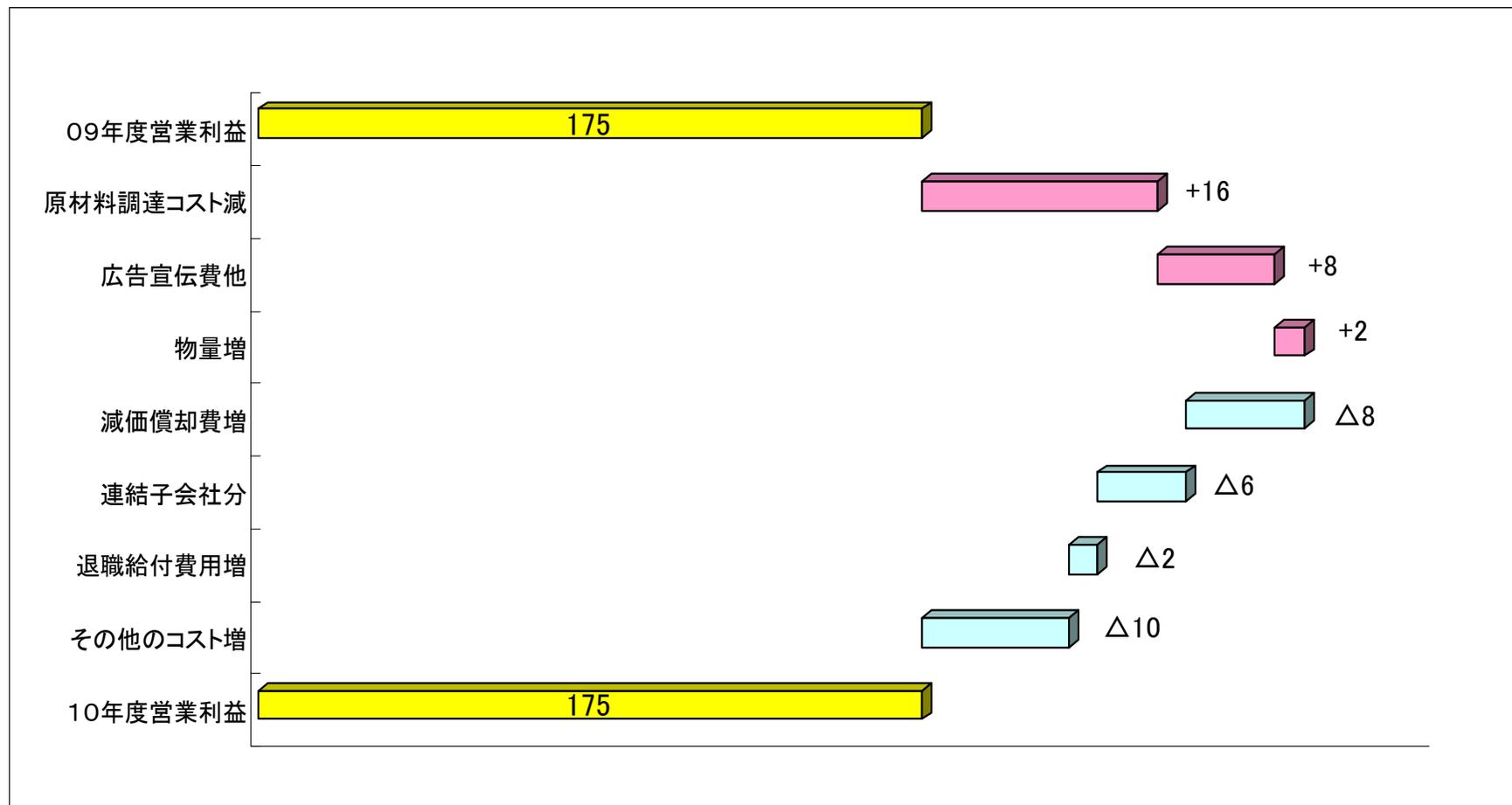


※営業利益については、消去後の数字で表示しております。

(3)【明治乳業】営業利益増減益要因（通期計画）



（単位：億円）



※営業利益については、消去後の数字で表示しております。

おわりに



- ・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

『統合初年度の振り返りと、
2010年度経営方針について』

2010.5.26

明治ホールディングス株式会社

代表取締役社長

佐藤 尚忠

09年度 総括

1. 経営統合の狙い
2. 09年度業績概要
3. 明治グループの取り組み

10年度 経営方針

1. 策定の背景
2. 10年度経営方針
 - ①グループ理念体系の共有・実践と「明治」ブランドの価値向上
 - ②事業拡大と収益力強化
 - ③新しい事業体制の決定と諸準備の推進

1. 経営統合の狙い



人口動態の激変や消費者ニーズの多様化といった環境変化

統合による経営資源(ブランド、技術力、マーケティング力など)の有効活用

- 得意分野である既存事業の強化
- グループの知見等の融合による新たな需要創造
- 事業ポートフォリオの広がり



世界的な「食と健康」のリーディングカンパニーへの飛躍

2. 09年度業績概要



【明 治 H D】 売上計画は若干の未達、利益計画は達成
【事業子会社】 明菓・明乳とも前期比 減収・増益

HD連結概況（計画比）

	09実績	09計画	達成率
売上高	11,066	11,240	98.5%
営業利益	287	260	110.7%
経常利益	283	260	108.9%
当期純利益	130	120	109.1%

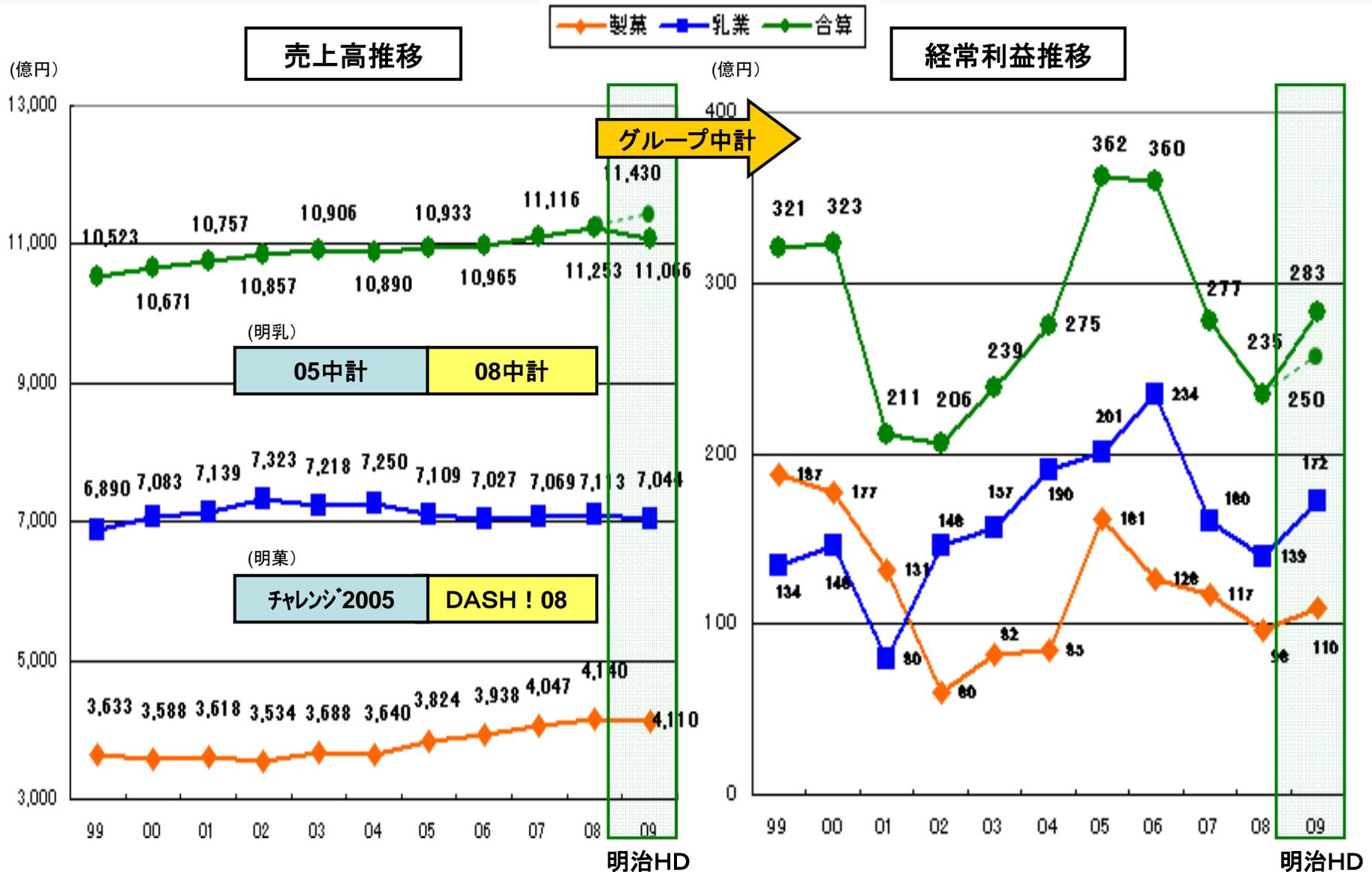
（単位：億円）

事業子会社別概況（前期比）

		09年実績	08年実績	前期比
明菓	売上高	4,110	4,140	99.3%
	営業利益	108	107	100.3%
	経常利益	110	96	115.1%
明乳	売上高	7,044	7,113	99.0%
	営業利益	175	140	125.2%
	経常利益	172	139	124.1%

（単位：億円、消去含まない）

明治グループ売上高と経常利益の推移



3. 09年度 明治グループの取り組み



① 明治ホールディングス 発足

- グループ理念体系の制定
- ブランドマークとスローガン決定

② 明治グループ09-11中期経営計画スタート

- 既存事業の強化・拡大
- 統合シナジーの早期実現

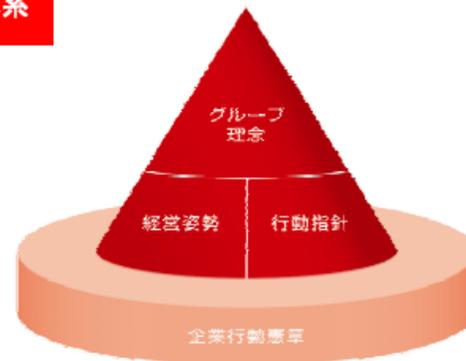
③ 明治ブランドの価値向上

- 新ブランドマークによるマーケティング活動と商品パッケージ刷新
- 「おいしさ・楽しさ・健康・安心」を代表する新製品の投入
- 新薬2品の上市

①明治ホールディングス 発足

グループ理念体系の制定

明治グループ理念体系



グループ理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拓け、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。
私たちの願いは、「お客様の気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。
私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一步先を行く価値を創り続けます。

経営姿勢

5つの基本

1. 「お客さま起点」の発想と行動に徹する。
2. 「高品質で、安全・安心な商品」を提供する。
3. 「新たな価値創造」に挑戦し続ける。
4. 「組織・個人の活力と能力」を高め、伸ばす。
5. 「透明・健全で、社会から信頼される企業」になる。

行動指針

meiji way

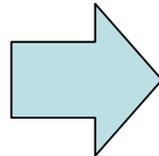
お客様の、パートナーの、仲間たちの、
「そばになくてはならない存在」であるために

1. お客様と向き合って、お客様から学ぶ。
2. 先を見る勤を鍛え、先駆ける技を磨く。
3. 仕事をおもしろくする、おもしろい仕事を創る。
4. 課題から逃げない、やりぬく気概と勇気を持つ。
5. チームの可能性を信じ、チームの力を活かす。

①明治ホールディングス 発足



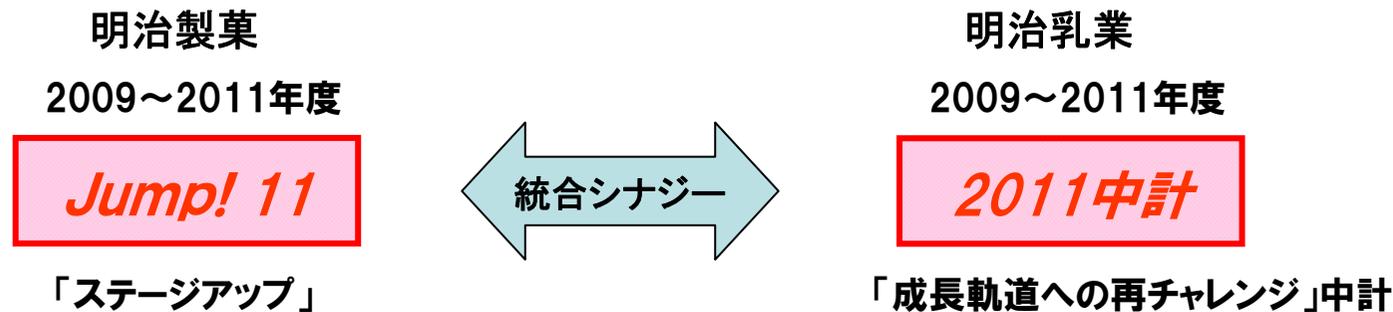
新ブランドマークとスローガン決定



②グループ09-11中期経営計画スタート

meiji

■「2009－2011中期経営計画」の組み立て



■中期経営計画の基本コンセプト

『明治グループが持つ“強み”を最大限に発揮し、
既存事業の成長と統合シナジーの早期実現を図る』

■明治グループ業績目標

売上高1兆2,600億円、経常利益450億円

既存事業の強化・拡大

乳製品事業

■アイスクリーム新工場棟の建設（92億円）

菓子のプロダクトブランド、加工技術、
原料調達力などを活用

→高いシナジー効果創出



完成イメージ<明乳関西工場内>

■マーガリン新工場の建設（48億円）

技術・ノウハウ活かし生産性向上

ニーズを捉えた高付加価値商品の生産



完成イメージ<明治油脂>

既存事業の強化・拡大

菓子・健康事業

■大阪工場1号館の更新（50億円）

生産能力大幅向上



完成イメージ<明菓大阪工場 新1号館>

既存事業の強化・拡大

医薬品事業

■P.T.メイジ・インドネシア設備投資（約40億円）

ペニシリン生産拠点

- ・高品質確保
- ・生産能力強化
- ・コスト競争力強化



<PTメイジインドネシア>

■大蔵製薬グループ内再編

ゼリー製剤技術に強み

- ・ジェネリック医薬品への応用
- ・新薬のライフサイクルマネジメント



<ゼリー製剤>

統合シナジーの早期実現

- 商品ブランド・原材料の相互利用
- シナジー創出のため組織・プロジェクトの設置と取り組み推進
- 合同セール「明治フェア」の実施



<コラボ商品例>

③明治ブランドの価値向上



新ブランドマークによるマーケティング活動

■CM提供表示



■CMカット



■ミルクチョコレートのマーケティング、販促活動



山手線「ミルチトレイン」



「明治おいしい牛乳」に
「明治ミルクチョコレート」の広告



東京都中央区のコミュニティバスも
ラッピング

③明治ブランドの価値向上



商品パッケージの刷新

■ブランドマーク変更によるパッケージの刷新



③明治ブランドの価値向上



「おいしさ・楽しさ・健康・安心」を代表する新製品の投入

【乳製品】



■明治ヨーグルトR-1

【菓子・健康】



■チップチョコップ

【医薬品】



■リフレックス



■明治ヨープレイ



■アミノコラーゲン ポーテ



■オラペネム

■新統一ブランドマークの浸透・定着

- 「おいしさ」「楽しさ」「健康」「安心」をお届けする新商品の投入
- CM・キャンペーンなどマーケティング活動の推進

■グループ共同での事業強化とシナジー創出の取り組み推進

- グループの経営資源を活用した商品開発、合同販促
- アイデア、技術、研究等に関する共同取り組み

■統合初年度 利益計画の達成

09年度 総括

1. 経営統合の狙い
2. 09年度業績概要
3. 明治グループの取り組み

10年度 経営方針

1. 策定の背景
2. 10年度経営方針
 - ①グループ理念体系の共有・実践と「明治」ブランドの価値向上
 - ②事業拡大と収益力強化
 - ③新しい事業体制の決定と諸準備の推進

1. 策定の背景

■ 環境認識

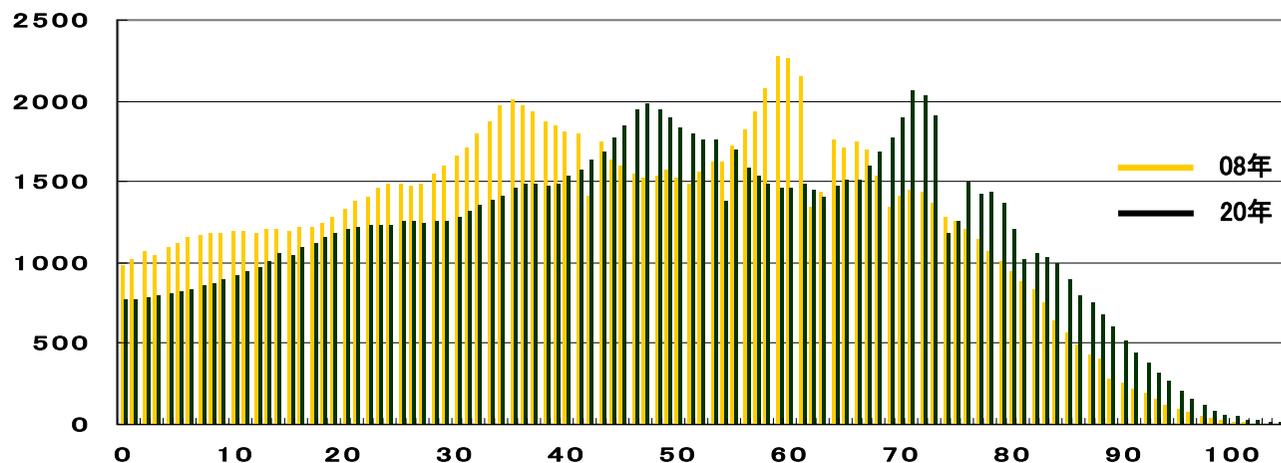
経営環境の変化

デフレ進行による価格の下落
国内市場の縮小、中国などの経済成長
原燃料価格の高騰
異業種を含む企業間競争激化

食と健康へのニーズ変化

食生活の多様化
健康意識の高まり
食の安全意識の高まり

人口動態 08年→20年比較



※人口構成の変化を伴った少子・高齢化

0~40歳人口

▲ 1,140万人
▲ 19.6%

70歳以降人口

+ 764万人
+ 37.9%

2. 10年度経営方針



方針① グループ理念体系の共有・実践と「明治」ブランドの価値向上

- (1) 「明治グループ理念体系」の理解と具体的実践
- (2) 「明治」ブランド価値向上に向けた諸活動の推進
- (3) コンプライアンス、安全衛生、品質保証の徹底

方針② 事業拡大と収益力強化

- (1) 市場競争力の強化による中核事業の成長
- (2) 新たな需要創造への取組み推進
- (3) あらゆるコストの見直しとグループとしての経営体質強化

方針③ 新しい事業体制の決定と諸準備の推進

2. 10年度 経営方針

事業拡大と収益力強化

ますます厳しくなる経営環境

- 需要の低迷
- 消費者の低価格志向の強まり
- 原材料価格の高止まり
- 薬価の引き下げ

中計で目指している方向性は堅持

- 得意分野である既存事業の強化
- グループの知見等の融合による新たな需要の創造

09年に引き続き10年度目標必達

2010年度計画

		10年度計画	前年実績
明治HD	売上高	11,310	11,066
	営業利益	290	287
	経常利益	290	283
乳製品	売上高	6,085	6,000
	営業利益	147	134
菓子・健康	売上高	3,020	2,930
	営業利益	55	44
医薬品	売上高	1,312	1,276
	営業利益	71	84
サービス他	売上高	1,449	1,408
	営業利益	26	34

※ 単位: 億円。消去含まない。

◆10年度計画

	09年度実績	10年度計画	増減
売上高	6,000億	6,085億	+84億
営業利益	134億	147億	+12億

◆10年度重点テーマ

「新・総合乳業へ向けた競争優位の構築と強化」

- ① デフレ進行下での成長戦略の徹底
- ② コスト改革の推進
- ③ 海外展開の推進

事業別成長戦略の推進



ベビー&マザー
「らくらくキューブ」普及強化

市乳

主要商品群の拡大
新商品の定着

メデイカルニュートリション

高齢化対応の商品展開・
販売促進強化



食品

スマートチーズ中心に
「明治北海道十勝」シリーズ拡売



アイスクリーム
「エッセル」・菓子ブランド
商品拡売

食品・業務商品共通

チーズ事業No. 1に
向けた取り組み推進



ニュートラシューティカル
「VAAM」拡大

冷食

ピザ・グラタンに特化



業務商品

新規開拓での売上拡大



コスト改革の推進

◆コスト改革のねらい

低成長時代における成長原資の獲得

◆具体的テーマ

1. 市乳工場の操業度改善
2. 販社の収益改善
3. ゼロベースでのコスト改革

海外展開の推進

海外展開の
考え方

全明治グループとして推進

- ・技術・強みを活かし、成長著しいアジアを中心に展開
- ・拠点ごとに、その地域にふさわしい商品を投入

エリア

中国、タイなどアジアを中心に

販売商品

市乳 ヨーグルト 流動食

※相手国に応じた品目を選択

コナミルク プロセスチーズ

アイスクリーム

目標

現状:売上高150億円 利益10億円



拡大へ

◆10年度計画

	09年度実績	10年度計画	増減
売上高	2,930億	3,020億	+89億
営業利益	44億	55億	+10億

◆10年度重点テーマ

- ① 市場環境を見据えた商品開発・販売戦略の推進
- ② 販売・マーケティング費用を含めたコストの徹底見直し
- ③ 中国事業の基盤強化とアジア・米国での事業展開の拡充
- ④ 業務用ビジネスの拡大とスイーツ事業の展開促進

菓子メーカーNO. 1に向けて

◆チョコレート

「ミルクチョコレート」徹底拡売
「ガルボ群」「チップチョップ」をロングセラー
ブランドに育成



◆ガム

「キシリッシュ」の拡大と「スイーツガム」「MINTZ」
の市場定着によるシェアアップ



健康事業における増収・増益戦略の遂行

◆ブランド戦略による売上拡大と高収益体制強化

「アミコラ」「ザバス」「イソジン」「ココア」
「パーフェクトプラス」「カレー」



◆健康・栄養分野における統合効果の追求



中国事業の基盤強化とアジア・米国での事業展開の拡充

◆米国事業の更なる拡大

- ・明治品導入による売上拡大



<スタウファー・ビスケット>

◆中国事業発展計画の着実な遂行

- ・継続的な売上拡大と黒字化の実現



<上海明治 取り扱い商品>

◆アジア市場における事業拡充

- ・菓子、健康品の強固な販売ネットワーク確立



<シンガポール・メイジ>



<セレス・メイジ・インドタマ>

業務用ビジネスの拡大とスイーツ事業の展開促進

◆業務用ビジネスにおける

- ・主要客先への取り組み強化
- ・新規顧客開拓



◆スイーツ事業の基盤整備と市場開拓



収益をつかみ取る施策の実施

＊菓子主要原材料の高騰・高止まり → 10年度は減益要因に

＊個人消費低迷・デフレ進行による市場の冷え込み

◆営業施策、生産施策の徹底による利益創出
(返品・不良資産の削減を含む)

◆宣伝費を中心とする諸経費の削減

◆10年度計画

	09年度実績	10年度計画	増減
売上高	1,276億	1,312億	+35億
営業利益	84億	71億	△13億

◆10年度重点テーマ

- ①新製品・ジェネリック品の拡大とコストダウン徹底
(薬価引き下げダメージの挽回)
- ②農薬・動物薬の収益力早期改善と新製品の売上最大化
- ③海外における新市場開拓の推進
- ④研究開発促進、ポートフォリオ強化とアライアンスの推進

新製品・ジェネリック医薬品の販売拡大

◆「リフレックス」の早期拡大

- ・専任MRの増員による営業力強化

◆ジェネリック医薬品の継続拡大

- ・注射剤、病院市場に強み
- ・製剤技術(高い利便性)
- ・高品質、安定生産、情報提供力

◆重点顧客への品揃え強化と得意領域での顧客満足度向上

(重点顧客:内科、心療内科、小児科、耳鼻咽喉科、精神科、急性期病院、精神科病院)



<抗うつ薬「リフレックス」>



<カルシウム拮抗薬「アムロジピン」>

農薬・動物薬の収益早期改善

◆新製品の登録、承認取得の推進と早期市場定着

- ・ザクサ液剤(農薬)
- ・マルボシル注射剤(動物薬)



◆収支構造改善の実現

- ・原薬コスト低減(オリゼメート)
- ・動物薬の品目絞込み

◆海外事業展開に向けた体制整備強化

- ・開発品目グローバル展開への備え



事業基盤強化に向けた研究開発の促進

◆自社開発品の開発スピードアップ

- 「ME3738」
- 海外開発体制の早期構築 ⇒米国駐在設置

◆製品ポートフォリオ強化とアライアンス推進

- POC確立品目の早期導入と販売提携の実現
- 大学、ベンチャー企業との創薬、技術提携、アライアンス体制の整備

コストダウン徹底による薬価引き下げ克服

薬価改定の影響 ▲60億円

- ◆内製化を含めた原薬調達体制の整備と安価原材料調達による直接原価低減の実現
- ◆海外拠点を含む最適生産体制の確立
- ◆研究開発、販売、生産等のコスト効率化

新市場開拓に向けた海外戦略の構築と体制整備

◆ 医薬新興国（ロシア、ベトナム、中国、韓国）への事業展開



◆ 海外グループ会社の現地販売力強化



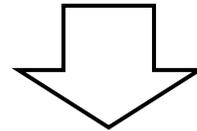
◆ メイアクト・アダント・ジェネリック薬の
売上規模拡大
(新市場開拓、適応症拡大、GE承認取得)



<「メイアクト」海外製品>

世界有数の「食と健康」のリーディングカンパニーへ！

世界食品メーカー売上高ランク30位(08年)



統合効果発揮し、さらなる飛躍へ

明日をもっとおいしく

meiji



- ・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

